

業況レポート

製造業

- ◇パン…給食会と平成27年度のパンの加工賃交渉を行い、微少であるが96銭上がった。昨年は据え置きであったので良かった。しかし、人件費の上昇、諸経費の値上げと厳しい状況は続いている。先行きが不安である。
- ◇味噌…売上が微減の状況で、原材料、特に大豆やその他の資材、経費が上昇しており、相変わらず厳しい経営環境が続いている。
- ◇酒…1月の当県課税移出数量は、前年同月比95.2%と12月に引き続き低い水準となった。特定名称酒も99%と前年割れとなったが、年間での伸びは102%を維持。また、焼酎については113.2%と前年を上回り、年間を通じて前年並みに回復している。清酒輸出に関しては依然として順調な伸びを示している。平成26年度の原料米調達について、酒造好適米は枠外生産により辛うじて安定的に確保出来た。今後、酒造好適米については、需給と価格安定を図る上で複数年契約方式等を順次導入していくとともに、枠外生産の拡大措置も講じられると思われるが、TPPへの政府対応いかんによっては大きく変化するものと考えられる。県内最初の乾杯条例を施行した笠間市は、12月に1周年記念「一斉乾杯」を実施。
- ◇納豆…流通業界のPB強化の影響や競争激化で、原料・資材高による値上げを受け入れてもらえる状況にない。生産性の向上、ムリ・ムダ・ムラをなくすなどしても、中小メーカーはかなり疲弊してきていると思われる。
- ◇菓子…2月は1ヶ月を通じて低調に推移。売上、収益、共に前年割れである。原材料（特に輸入原材料）が値上り、今後、収益の圧迫が懸念される。
- ◇繊維製品（袋物）…全体的に2月も仕事量があり、各社好調の様子。アナログの作業の従事者は確実に減少の傾向にあるため、人材確保が今後の課題。
- ◇木材…原木価格は高止まりしているが、製品価格は一段と軟化し、製材工場の採算性は著しく悪化している。2月は例年不需用期であるが、今年はこちら数年にないほど売れ行きが弱い傾向である。製品価格も安くすれば売れるのではなく、価格を維持している状況である。先行き不透明である。
- ◇プレカット…2月は加工機の入替のため全て外注加工になった。3月から本格稼働を目指す。CAD、加工が前の機械と変わったので、早く慣れるようにしたい。
- ◇段ボール…仕入価格が上昇傾向にあるが、製品の

値上げまでには至っていない。4月、再値上げの話があり、このまま製品値上げが出来なければ収益の悪化は避けられない。今後の仕入価格の動向に注意が必要である。

- ◇総合印刷…印刷用紙の値上げについては、卸問屋から具体的な話はまだ来ていない。
- ◇焼物…笠間へ訪れる方も少しずつ増えてきたが、売上の増加には直接影響があるところまでは来ていない。春のイベント時には多くの方に来ていただけるよう頑張っていきたいと考えている。
- ◇鍍金…受注量は鍍金全体としては前年より1割程度増加。自動車部品・弱電部品関係の仕事は相変わらず低調。しかし、建築部品、一般機械部品等は堅調で、業界としては得意先の関係で忙しい会社（一般の得意先の多い会社）とそうでもない会社（主に自動車関連・弱電部品関連の得意先の多い会社）に二分された感じである。前者の方が若干多い。金属材料は、貴金属並びにニッケル金属等は高含みで推移している。その他の工業用薬品については大きな変動はない。
- ◇電化機器…当月生産高は、対前年同月比△184百万円（△21.6%）となる668百万円。家電関連、自動車関連共に期首より対前年同月比が向上かずの状態の中であるが、自動車関連においては取り扱う品種により前年比で増加している事業所もある。
- ◇工業団地（農機部品）…組合員の売上状況は、対前年同月比で組合員7社中3社が増加、4社が減少の全体増減率は80%。足元の生産活動では低位横這い推移に変化なし。主得意先より提示された4月～9月期の増産計画について、具体的な部品・数量の提示がされた。設備能力・稼働時間確保面では目途がついてきた。作業員確保面では、目途が立たず困難を極めているのが実情である。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメントの出荷袋数は、前年同月比8%の減少。タイル工事が袋セメントから接着剤に変わる等、工法の変化もあり減少傾向に変わりはない。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比7.35%の増。量販店の売上高は伸びているが、一般の買受人は減少傾向。
- ◇食品卸売…野菜は前年と比べ数量不変、単価高で推移。果実は数量減、単価高で推移した。特に苺・柑橘類が入荷減となり、単価が高くなった。円安等の影響を受け輸入果実の単価高が続いているが、他の食料品等でも値上げのニュースが多く聞かれ、今後の消費動向が不安な状況である。

- ◇**県南地区卸売**…組合員1社、仕入の70%が輸入であり、円安による仕入単価の上昇により収益面において大きく影響している。
- ◇**県北地区共同店舗**…今年もニッパチ対策で特招会を実施し売上前年比は増加したが、昨年は週末の悪天候が続いたもので、意気揚々とはいかず。
- ◇**県央地区共同店舗**…昨年に比べ積雪が無かったので相対的な入館数は増えたが、衣料・雑貨系の集客、売上確保は依然として厳しい。
- ◇**県南地区共同店舗**…1月度に比べると若干（3ポイント程度）上向いたが、依然として客数に苦戦。特にアミューズメント施設を中心とした子供連れファミリー層が悪い。
- ◇**家電**…依然として売上高は低迷しており、厳しい状況が続いている。店には余裕がないが、経費を削減して今持っている力で活動に注力頂くよう呼びかけている。既存のお客様を訪問して頂くことが、いま大切な時期と思われる。
- ◇**農機具**…売上高減少による利益確保が困難である。農業の廃業が増加してきている。米価、野菜価格の低迷による農業所得の大幅減収。
- ◇**中古自動車**…2月のオークションは、出品台数の減少幅が6.4%減と前月より3ポイント挽回し、収益も6.5%増と大きく増収することが出来た。
- ◇**石油**…原油価格の下落により仕入価格が下がったため、前年同月比で24円低下した。安値販売競争の激化から、仕入価格の下げ幅以上に販売価格を下げているため、依然として厳しい経営環境となっている。
- ◇**ホテル旅館**…水戸・大洗地区では、前年に比べると入込客数は伸びており、あんこう料理を目的としたお客様が大分増えている。しかし、日立より以北は、際立って悪くはないが宿泊は低下している。県西地区は、工事関係者の宿泊と宴会が多かった。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車両在庫状況指数で

ある継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車は106.9%、軽自動車は105.7%とともに増であった。

- ◇**総合建設**…先月期と大きな変化はない。発注がほぼ終わり、各社年度末工事完工に向けて忙しい状況である。これから発注する工事は、小規模工事が年度繰越工事となるため、全社は人手不足で不調が多く、後者は次年度初期工事確保のため、ダンピング受注工事が目立つ。非常に非効率である。
- ◇**県北地区運輸**…主要顧客毎の出荷物量は横這いなるも、燃料価格の底打ち感により値上り傾向である。よって収益は依然厳しい状況である。
- ◇**県央地区運輸**…稼働日数が少ない上、一般的に荷も少ない。建築関係の動きも部分的にはあったが、業界全体的に前年並みの荷量である。運賃の低迷も続いており、軽油価格の変動もあるが、厳しい状況が続いている。

H27.2月の業界天気図

業種	指数	売 上	収 益 状 況
		前年同月比	前年同月比
食 料 品 業		▲ 50.0	▲ 50.0
そ の 他 業		▲ 30.0	▲ 50.0
卸 売 業		▲ 0.0	▲ 25.0
小 売 業 (商店街を含む)		▲ 9.1	▲ 27.3
サービ業		100.0	50.0
建 設 業		▲ 40.0	▲ 20.0
運 輸 業		▲ 100.0	▲ 100.0
全 体		▲ 24.0	▲ 38.0

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.1値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.1値

アクモス 株式会社

<http://www.acmos.co.jp>

— 人と技術と感動を —

プロフェッショナルサービスプロバイダーのアクモスグループです

〈茨城本部〉 〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松2713-7
TEL: 029-270-5555 FAX: 029-270-5531

 認定コード 6888	本社 東京都千代田区神田小川町三丁目26-8 03-5217-3121	つくば事業所 茨城県土浦市卸町1-1-1 関鉄つくばビル2F 029-834-3391
-------------------	--	--